

出雲地区森林組合広報 **Forest**

# 「緑のこだま・いずも」

発行 出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1  
 TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070  
 メールアドレス: izrinsomu@m1.izumo.ne.jp  
 ホームページアドレス: <http://www.izurin.jp/>

**No.23**  
 平成23(2011)  
 3/10



## 出雲平野から望む仏教山（神名火山）

（H23.1.17 撮影）

標高366mの仏教山からは、出雲平野はもとより島根半島が一望できます。仏教山は出雲風土記では、神名火山とよばれていましたが、富田城主尼子経久が、改めたとされています。

## 目次

## CONTENTS

組合員の皆様へ	..... 2
神西湖に間伐材魚礁設置進む	..... 2
チップ工場にチップヤード増設	..... 2
総代改選	..... 3
ニューフェイス紹介	..... 4
植菌体験	..... 4
年末年始の雪害について	..... 4
介護施設に薪供給	..... 4

## 組合員の皆様へ

代表理事組合長 手銭白三郎

組合員のみなさん、お変わりございませんでしょうか。

誌上を借りましてご挨拶少々お便りをさせていただきます。

「ご機嫌は如何でしょうか」などと言えば、山が大変な状況をわかっているながら、機嫌が良い訳ないじゃないかと二喝されそうですが、まずは平素のご無沙汰のお許しを願いつつ組合事業への変わらぬご理解ご協力にお礼申し上げたく存じます。

三月に入り寒さも日毎に和らぎ、春の気配を感じます。

窓から見える古木の紅梅が、ひっそりと固い蕾をふくらませ開花しようとしています。

樹木はけつして季節の移ろいを忘れることなく、正直にそして着実に息づいて私どもの心をなごませてくれます。

昨年の夏は記録的な猛暑でしたが年末、正月には二転して寒波の襲来となり、県内でも特に東部と山間地で雪害がありました。農業と水産については被害の把握も早く、対策がすでに講じられております。森林の方は今少し調査に時間が必要となります。

気象の異常は大変気になるところであり、地球温暖化の懸念に対しては、もっと森林の役割が評価されてしかるべきです。

国会では新年度予算の執行がどうなるのか見通しのたないままです。新政策が当初かかげたCO<sub>2</sub> 25%削減目標も、十年後の木材自給率50%以上達成という目標にも大いに期待したいところです。木材価格の低迷が長期にわたり続く中、

どのような施策が実現可能なのか、答えのないまま、かけ声だけに終わらないよう願っております。

さて当組合では今、北山山系などでの松の枯損木の処理にあたっております。

急峻な斜面での作業は難しく事故の起きないことを祈る毎日です。とうてい薬剤空散の様に広範囲で、かつ奥部までの対応は出来ません。今後いかに荒廃した林地を守っていくのか崩壊、崩落は防げるのか、大きな宿題を背負い続けることになると思います。

従前からの鹿被害については、捕獲頭数の大幅な見直しが必要とされ生存数の減少による効果を期待しております。

昨年十二月には、七地区で地区委員会を開催しましたところ、年末ご多忙の中、多数の皆様がご出席くださいました。本年は役員、総代、地区委員ともに改選の年です。

二月にはすでに新しい総代さん二百名にご就任いただきました。

四月からは新しい地区委員さんにお世話になることとなります。

又、五月には理事、監事二十名の役員改選です。

十月には出雲市と斐川町の合併があります。当組合は斐川町を含む、いわゆる旧二市五町を地区として発足しておりますが、これで文字通り出雲市の森林組合ということになります。組合の最大の出資者でもあります市当局には引き続き二層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今期も年度末まで残り少なくなりました。事故の無い毎日を心がけ、気を緩めることなく役員一丸となって職務に精励しますことをお誓い致します。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 神西湖に間伐材の魚礁設置進む

出雲市産の間伐材を神西湖で魚礁に使う実証実験が今年度より五カ年計画で始まりました。水産庁の補助をうけて間伐材の利用拡大と漁獲量増を目指し木製魚礁を設置していきます。設置前と設置後の増殖効果などを追跡調査していく予定です。今年度は三種類・七十二基の魚礁を設置しますがどれが一番効果があるのでしょうか。森林組合は佐田町などから切り出した間伐材の提供を行っています。森林の整備を進めるうえで沢山の間伐材を使ってもらいたいと願っています。



## チップ工場にチップヤード増設

平成二十三年度より中国電力(株)三隅火力発電所へ燃料用チップを納めることになりました。来年度から五カ年間石炭に木質チップを混ぜて燃焼する検証事業に、当森林組合を含めて県内十二社が協力して木質チップを納めるものです。

電力会社にとっては化石燃料である石炭の代替燃料として木質チップが十分使えるか検証していくもので、同時に地球温暖化防止のためCO<sub>2</sub>削減に協力する社会的意義もあると思います。

私達にとつてはこれまで山に放置していた折損木などの林地残材を有効活用出来るようになり、チップ工場の既成設備を使って増産出来るメリットもあります。

燃料用チップは皮付きチップですので、今までの製紙用チップヤード(置き場)と区分けしなければなりません。このため昨年十二月より既設ヤードの隣に増築を開始し今年一月末に竣工しました。工事費は七八〇万円余でしたがこの建築費用はすべて当組合の自己資金で賄いました。



# この度任期満了による総代改選により 200名の新総代の皆さんが決まりました

平成23年2月10日就任  
(敬称略)

第1区 旧出雲市(73名)			
山崎	勝美	嘉本	義富
園山	一郎	曾田	郁雄
新宮	文夫	加村	秀稔
富田	章吾	國谷	祐吉
新宮	幸雄	金山	雄治
新宮	啓	永瀬	正美
若槻	成昌	増原	健治
三成	博文	高野	光壽
柳楽	正雄	増原	芳男
和田	光雄	吉井	宗昌
田村	寿	永瀬	輝夫
檜垣	成実	内田	充治
内部	貢	三成	淳夫
森山	昌之	飯島	昭人
畑	利男	多々納	利夫
杉原	俊晴	牛尾	尚義
柳楽	英希	塩野	一男
横山	猛	榎野	重吉
岡田	久義	藤江	弘満
小林	郷史	大国	親雄
吉田	博	大国	誠
吾郷	義幸	山根	勉
天喰	俊二	伊藤	碩
藤原	吉夫	吉井	則夫
江角	良昭	三野	瀬尚
江角	隆司	米原	善憲
石橋	節郎	浅津	節夫
中上	政義	漆谷	勉
矢田	和男	高瀬	忠信
高橋	恒夫	小村	隆志
今岡	清	原田	嘉昭
成相	裕之	勝部	義幸
今岡	武始	玉串	晃一
伊藤	彰祥	森	眞偉
後藤	充完	濱村	弘
別所	祐司	糸賀	弘一
曾田	格		

第2区 旧平田市(62名)			
松本	剛美	松浦	達朗
多久	和祥	二瀬	恵吉
多久	和修	遠藤	美津子
門脇	武志	安食	勇
原田	延夫	倉橋	善雄
岩成	秀幸	錦織	幸夫
田中	康富	高橋	隆
飯塚	徳定	足立	英男
角	和明	米江	徳次
曾田	保雄	福田	元雄
曾田	貞夫	阿式	師春
梶谷	泰正	玉木	正一
梶谷	順	金築	克郎
坂本	義雄	森山	茂
長岡	昌利	黒崎	澄子
落合	由男	錦織	清治
市川	和樹	小池	昇
松本	義則	和泉	孝一
多久	和利	徳山	根孝一
遠藤	美久	大坪	美治
伊藤	邦雄	原	孝志
河原	孝一	原	一男
福田	正輝	荒木	務
森脇	稔	荒木	益雄
河瀬	繁雄	荒木	隆司
西尾	光弘	荒木	尚司
来海	隆一郎	小田	川賢一
佐藤	雅男	篠原	芳夫
土江	勲	吉田	欣次
梶谷	善信	平野	順一
金折	徹也	常松	泰久

第3区 斐川町(6名)			
中林	信夫	矢野	和正
渡部	誠	和田	守英夫
福田	芳夫	福島	忠明

第4区 旧佐田町(25名)			
荒薦	幹雄	今岡	仁左恵
勝部	剛	神田	進
和田	巖	石橋	正伸
長島	智年	野津	孝文
板垣	広治	岡田	雄一
周藤	俊雄	山本	和男
田中	忠信	竹内	秀文
桐原	勇	竹下	勝博
藤原	昭充	栗原	豊
安井	常光	岩崎	弘
石橋	美法	川合	誠
神庭	稔	田中	秀雄
浜村	雅男		

第5区 旧多伎町(13人)			
和田	邦芳	岡田	耕一
河上	清	木村	吉郎
田中	幸次	山本	和男
川上	雄弘	福庭	毅
和田	森英男	持田	孝吉
岡田	章治	柳楽	茂彦
佐藤	孝雄		

第6区 旧湖陵町(8人)			
坂根	富士夫	野津	俊雄
森山	祐次	坂根	忠徳
春日	貴紘	田中	尊久
竹下	博巳	今岡	昭三

第7区 旧大社町(13名)			
勝部	淳人	熱田	洋人
嘉藤	幾喜	別所	廣藏
上野	英一	小村	實
永岡	達朗	高橋	文夫
加藤	博	安部	信義
佐貫	吉孝	田中	和實
安達	富治		

総代改選にあたりまして、地区委員の皆様には深いご理解と格別のご協力を賜りありがとうございました。

退任された総代の皆様には、当組合の運営や事業発展に格別のご協力いただきありがとうございました。今後とも当組合の運営につきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ・総代200名の皆さんは組合員の中から選出され、決算、事業計画、組合運営などを決定する総代会に参加して頂きます。
- ・任期は平成23年2月10日から平成26年2月9日までの3年間です。

## 年末年始の 雪害について

年末年始の大雪により出雲管内の造林地でも雪害が発生しました。

当組合では、組合員様の山林で雪害後の森林復旧等のお考えに対して、現地を確認させていただいた上で施業の提案をさせていただきますのでお気軽に造林係までご相談下さい。

また、万一の災害に備えたいと考えておられる組合員様については、森林国営保険に加入をお勧めします。お気軽に総務課までご相談下さい。



## ニューフェイス 紹介

若築一也

平成22年5月1日に入組いたしました。約10ヶ月が経過し、やっと落ち着いて仕事ができるようになりました。

他業種からの転職で日々苦手な勉強の毎日です。現在、森や緑が見直され始めている中、森林再生・森林保全等いろいろな知識を深め、皆様や社会に役立つ仕事をしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

## 介護施設に薪供給

市内上島町の小規模多機能ホーム「ハッピーハウス」に現代風な薪ストーブが入りました。アメリカ製のストーブだそうです。介護を受けるために集まった人たちに、暖かみのある雰囲気作りと炎のぬくもりを伝えるためには、森林からとれる自然燃料を使った薪ストーブが一番だとのこと。北欧風な外見もすてきですが、風量の加減によって火力調節できるすぐれもの。森林組合は昨年从上島町のチップ工場に薪割り機を導入しましたので、乾燥した雑木の薪をいつでも提供出来ます。薪は(一貫400円)いつでもお売りします。興味のある方はちょっと覗いてみませんか？



## 植菌体験

2月22日出雲市立南中学校にて、1年生を対象としたシイタケの植菌作業体験がありました。

ほとんどの生徒の皆さんは植菌作業を行うのは初めてという事もありましたが、なれない作業にもかかわらず楽しそうに作業をしていました。

今回、植菌した原木は近くの山に自分たちで運んで伏せこみ、卒業の時に記念に配られます。

この体験が良い思い出となり若い世代に少しでも山林への関心が高まればと思いました。

